

妊娠に伴う糖尿病

清水 一紀 *Ikki Shimizu* (心臓病センター榊原病院糖尿病内科部長)

● key words 妊娠/劇症1型糖尿病/HbA1c/グリコアルブミン/妊娠糖尿病

はじめに

妊娠に伴う耐糖能異常への治療介入は、短期的な意義と長期的な意義とが存在する。短期的な意義とは周産期における母児合併症の予防であり、長期的な意義は妊娠後に発症する真の糖尿病の予防である。妊娠中の管理としては、糖尿病合併妊娠と妊娠糖尿病では周産期予後が大きく異なるため二分して考える必要がある。すなわち、糖尿病合併妊娠の治療は奇形や重篤な周産期合併症を予防するため、妊娠糖尿病の治療は主に巨大児の予防である。さらに特殊な例ではあるが、妊娠中に発症する劇症1型糖尿病も忘れてはならない。

I. 妊娠に伴う耐糖能異常の定義と診断基準

妊娠糖尿病 (gestational diabetes mellitus: GDM) は、「妊娠中に初めて発見または発症した糖尿病に至っていない糖代謝異常である」と定義され、妊娠中の明らかな糖尿病、糖尿病合併妊娠は含めない。妊娠中の糖代謝異常は、表1、2に示す診断基準により診断する。GDMは軽度の耐糖能異常であり、妊娠前に診断されていなかったが妊娠中に糖尿病診断基準を満たした場合は、妊娠中の明らかな糖尿病 (overt diabetes) として糖尿病合併妊娠に準じた治療を行う。妊娠中の明らかな糖尿病には、妊娠前に見逃されていた糖尿病と、妊娠中の糖代謝の変化の影響を受けた糖代謝異常、および妊娠中に発症した1型糖尿病が含まれ、いずれも分娩後は診断の再確認が必要である。

表1. 妊娠糖尿病 (GDM) の診断基準

定義	・妊娠中に初めて発見または発症した糖尿病に至っていない糖代謝異常である。妊娠時に診断された明らかな糖尿病 (over diabetes in pregnancy) は含めない。
----	--

75gOGTT による GDM の診断基準

	静脈血漿ブドウ糖 (mg/dL)
空腹時血糖値	≥92
1 時間値	≥180
2 時間値	≥153

左記の診断基準の1点以上を満たした場合に診断する。

表2. Overt diabetesとHigh risk GDMの診断基準

定義	・妊娠時に診断された明らかな糖尿病
----	-------------------

Overt diabetes

診断基準

- ①空腹時血糖値≥126mg/dL
- ②HbA1c≥6.5% [HbA1c (JDS) ≥6.1%]
- ③確実な糖尿病網膜症が存在する場合
- ④随時血糖値≥200mg/dLあるいは75gOGTTで2時間値≥200mg/dLの場合*

*いずれの場合も空腹時血糖がHbA1cで確認

High risk GDM

HbA1c<6.5% [HbA1c (JDS) <6.1%] で75gOGTT 2時間値≥200mg/dLの場合は、妊娠時に診断された明らかな糖尿病とは判定し難いので、high risk GDMとし、妊娠中は糖尿病に準じた管理を行う。